【給食協会賞】いつもとちがう給食の日

桜町小学校　鈴木　遥陽

あの日は、ただの給食の時間ではありませんでした。

献立は、ご飯、牛乳、えびピラフの具、ハムチーズサンドフライ、トマトスープ、そしていちごクレープです。私にとって、これは単なる給食ではなく、命がけのミッションだったのです。なぜなら、えびピラフの具の中に私の天敵であるえびとマッシュルームが入っていたからです。

いつもなら食べずに残してしまうかもしれません。しかし、今日の私には「残す」という選択肢はありませんでした。その先には、大好きなクレープのおかわりという最高のごほうびが待っているからです。

えびピラフの具をスプーンですくうと、天敵のえびとマッシュルームが現れました。口に入れるのには勇気が必要ですが、私はここであきらめるわけにはいきません。

私は勇気を出してご飯といっしょに口の中へ入れました。そして、ものすごいスピードでモグモグとかみくだき、のみこみます。すぐにすいとうを手に取り、水を一気に飲みました。水が口の中の残った味をきれいに消していきました。見事にえびピラフの具を食べることに成功し、ついにえびピラフを完食したのです。

しかし、ミッションはこれで終わりではありません。天敵をたおした私を待っていたのは、クラスメイトとのじゃんけんという最終決戦です。教たくの前に集まったメンバーの目は真剣でした。私は力をこめ、心の中で「絶対に勝つ」とちかいます。

「最初はグー、じゃんけんぽん」

大きなかけ声と同時に、気合をこめた手を出しました。一しゅんシーンとした後、

「やったー！」

声をあげたのは私でした。じゃんけんに勝って、ついに私は念願のいちごクレープを勝ち取ったのです。一口食べると、ふんわりした生クリームとあまいいちごの味が口の中に広がりました。大きなかべを乗りこえて手に入れた味は、いつもより何倍も特別で、最高に美味しかったです。

このミッションを一しょに戦いぬいたのは、私だけではありません。同じ班の友達も、私と同じように大きなかべを乗りこえて、クレープを手に入れました。

このことから、私は「ごほうびの力」があれば苦手なものも乗りこえられると知りました。これからは、どんな天敵給食でもおそれず、仲間と一しょに全力で挑戦します。